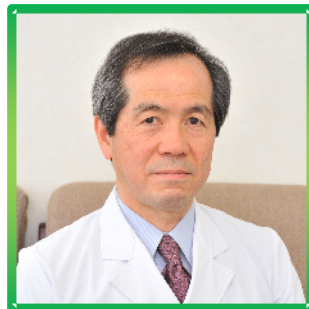




新年度です

4月1日、当院は念願の公益法人として認められ、新法人としてスタートをきることができました。「最新の標準治療を確実にける病院」の基本方針を礎に、公に役立つ活動をさらに活発に行えるように成長していきたいと思ひます。病院各部署に新しい職員も多数加わりました。新しい病院、新しい職員の成長を温かく見守っていただければと思ひます。



病院長 野坂 俊壽

新任医師紹介 Part 1

今年度より新しく着任した常勤の医師をご紹介します。それぞれの医師に、出身地 大学 子供のころの夢 趣味 心がけていること を聞いてみました。

飯塚 和絵(いづか かずえ) <消化器内科>

山形県 富山医科薬科大学 育児 丁寧な診療と苦痛の少ない内視鏡検査を心がけています。

大島 敬(おおしま たかし) <消化器内科>

東京都 東京医科歯科大学 物理学者 ダイビング 人にやさしい医療。訴えに耳を傾けること。

大東 寛和(おおひがし ひろかず) <循環器内科>

神奈川県 東京医科歯科大学 テニス 常に、医師としてのレベルの向上を怠らないように努め、また患者さんに信頼していただけるよう、丁寧な診察を心掛けています。

富田 茉莉(とみた まり) <内分泌内科>

長野県 北里大学 医師 旅行 患者さんの生活や将来なども考えられるような医師になりたいです。

倉重 理絵(くらしげ りえ) <呼吸器内科>

福島県 帝京大学 その方の生活環境、習慣、背景に則した治療ができるよう心がけています。

池川 直志(いけがわ なおし) <整形外科>

茨城県 名古屋市立大学 学校の先生 サッカー、フットサル 患者さんの背景や希望に傾聴し、最善の治療を行うように心掛けています。

菅野 真彦(すがの まさひこ) <整形外科>

埼玉県 和歌山県立医科大学 サッカー選手 サッカー、ライブ鑑賞 他科の先生方、医療スタッフとも積極的にコミュニケーションをとり、良好な人間関係を築くことが、患者さんにとってもメリットになると思ひます。

谷田貝 昂(やたがい のぼる) <研修医>

東京都 獨協医科大学 ウルトラマンに憧れていました(笑) スノーボード、卓球 患者さんの話を傾聴して、その人をよく知ること。丁寧な診察を心掛けていきたいと思ひます。

土井 将史(どい まさふみ) <研修医>

千葉県 香川大学 プロ野球選手 アニメ鑑賞、カラオケ、音楽鑑賞 患者さんの立場になって診療ができる医師になれるよう、努力していきたいと思ひます。

Part 2 は、4ページ目<最終面>になります!

新年度の異動に伴い、外来担当医師が大きく変わっています。(詳しくは、**今号付録の外来担当表**でご確認ください。)また今年度は新任医師が多いため、第4面でも**眼科・小児科・放射線科**の医師を紹介しております。併せてご覧ください。

病気のお話シリーズ

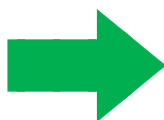
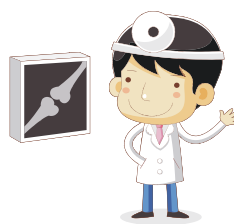
『骨粗鬆(こつそしょう)症』

< 整形外科 >

「この病気はどの科で診てもらえばいいの?」という声が多く聞かれます。その声にお応えして、このようなコーナーを作りました。今回は『骨粗鬆症』について、当院の整形外科の医師にお話を伺ってみました。



今回ご協力いただきました
整形外科のドクターです!



Q. 『骨粗鬆症』という病気について、わかりやすく説明をお願いします。

A. 『骨粗鬆症』というのは「骨が弱くなって折れやすい状態」ということで、それ自体には痛みはないのですが、現実的には股関節部・背骨・手首・肩などの骨折で、入院や手術になる人が多いのです。

実は、骨は“入れ替わっていつでも新しい状態を維持”していますが、女性では閉経後に女性ホルモンが減少すると、“古い骨を削る量が増えすぎて”骨粗鬆症になってしまいます。残念ながら、カルシウムをたくさん食べても治療効果はなく、誤解されている方が多いようですね。

Q. どのような検査をしたら、診断できますか?

A. “骨の量そのもの”を測定する検査 骨密度測定 と“骨の入れ替わり”をチェックする検査 骨吸収マーカー測定(採血) があります。

骨密度測定 では現在の骨の強さを確認することができます。正常の70%以下の骨密度だと『骨粗鬆症』と診断され、治療が必要です。骨吸収マーカー測定(採血) は適切な治療法を考える基準や治療効果判定に役立ちます。

『骨粗鬆症』にも色々なタイプがありますので、人によって薬や注射など治療法が違います。



当院の骨密度測定装置

Q. 治療法や日ごろから気をつけなければいけない点を教えてください。

A. 適度な運動をすることは効果がありますね。ただ『骨粗鬆症』では“運動療法”や“食事療法”はあくまで補助的な効果なので、薬を飲むなどの適切な治療が必要です。

骨折の予防のためには、「転ばないように、段差をなくしたり、手すりを作るなどの工夫」は必要ですね。また中腰で重いものを持ち上げたり、草むしりなども背骨への負担が大きいので要注意ですね。

『骨粗鬆症』の心配をするよりも、まずは自分の状態を調べ、必要に応じて正しい治療を受け、“骨折のない楽しい毎日”を送れるようにしましょう。



部門紹介

『リハビリ科』



リハビリ室のご紹介

リハビリ室は1階整形外科外来の隣に位置しています。
リハビリ科のメンバーは理学療法士4名、作業療法士2名の計6名です。スタッフは少人数ですが、その分和気あいあいと笑顔の絶えないリハビリ室です。
午前中は主に外来の患者さん、午後は入院の患者さんのリハビリを行っています。



リハビリ科ではこのような仕事をしています！

外来リハビリ

主に五十肩、骨折、変形性関節疾患の患者さんの治療や指導を行っています。

外来物理療法

低周波やけん引(首・腰)、マイクロ波など。

入院リハビリ

主に脳卒中、骨折や人工関節の手術後、呼吸器疾患の患者さんの治療や指導を行っています。何らかの原因で食事が摂れない患者さんには作業療法士が評価・えん下訓練も行っていきます。

カンファレンス

整形外科、呼吸器内科、神経内科の各科医師と病棟看護師、地域医療室のメンバーと定期的(週1回程度)に入院患者さんのリハビリの現状、治療方針、今後の方向性について情報交換をしています。

電子カルテに記録

リハビリ後に評価・治療の結果を毎回カルテに記録し、医師や他職種との情報共有をしています。



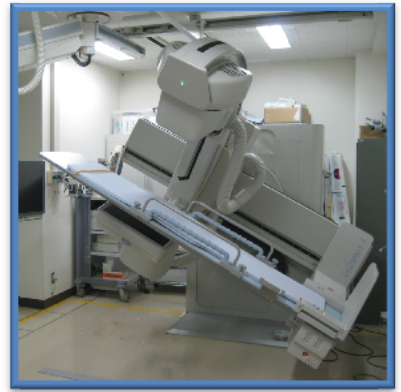
リハビリを受けるには？

まずは担当医にご相談ください。
医師がリハビリの必要性を判断し、医師からの指示を受けてからの実施となります。



リハビリ室からのお願い！

リハビリ室は整形外科外来の隣、採血室の奥にあります。
来室される方の中には杖や車いすの方もいらっしゃいますので、採血や整形外科外来でお待ちの方は、通行される患者さんに対して、ご配慮頂きますようお願いいたします。
建物の構造上、ご迷惑をおかけいたしますが宜しくお願いいたします。



導入された多目的デジタル
X線TVシステム(東芝製)

X線テレビ装置が新しくなりました。(3月22日)

X線テレビ装置はX線を使用して身体の中を透視する機械です。胃や大腸のバリウム検査で使用する装置というと、ピンとくる方がいらっしゃるのではないのでしょうか。バリウム検査以外でも、内科や外科、整形外科、泌尿器科など、X線透視を使用する検査や治療で幅広く利用されています。このたび新しくなった装置は今までの装置に比べ、被ばく量が少なくなり、より鮮明な透視画像を得られるようになりました。新しい装置の導入で今後さらなる検査や治療のサポートが期待されています。

ヘモグロビンA1c(HbA1c)の測定値が変わりました。(4月1日)

HbA1cは糖尿病の評価に重要な項目です。このHbA1cの測定値が2012年4月から国際標準値(NGSP値)に変わりました。NGSP値はこれまで日本で使用されてきたJDS値よりも約0.4%高い値なので、以前の結果と比べる際は注意が必要です。なお、特定健康診査や人間ドックなどの健康診断を受診した際の測定値は今までと変わりません。2013年4月からは健康診断の結果もNGSP値に統一されますが、今年度1年間は外来診療と健康診断でHbA1cの結果に差が出てしまうことをご了承ください。

基準値

これまで(JDS値): 4.3 ~ 5.8%

2012年4月~(NGSP値): 4.6 ~ 6.2%

新任医師紹介 Part 2

第1面に引き続き、新任の常勤医師の紹介をさせていただきます。(同じ質問をしています。質問内容は第1面をご参照ください。)

古瀬 悠(ふるせ ゆう) <眼科>

東京都 獨協医科大学 料理、読書、温泉めぐり 視覚は五感の大切なひとつです。丁寧な診療を心がけています。

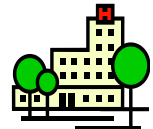
来住 修(きずみ おさむ) <小児科>

神奈川県 神戸大学 お茶の水博士のような研究者! 珈琲を淹れる、運動 患者さん及び御家族のQOL(生活の質)を高められる様、努力していきたいです。

林 孝行(はやし たかゆき) <放射線科>

福岡県 法政大学法学部、獨協医科大学 医師 旅行、ベランダでの家庭菜園 正確な診断と適切な治療。相手の人生を尊重し、思いやりをもって診察する。

当院の取り組み



接遇研修会の開催

4月6日(金)当院会議室にて、ANA(全日空)Learningの伊藤加奈子先生をお招きし、『医療現場の接遇』をテーマに研修を開催しました。元客室乗務員でもある伊藤先生より、お客さま(患者さんはさることながら、自分以外の相手すべてを指すそうです。)をもてなす心や実際の身だしなみ、立ち居振る舞い、言葉遣いから応対まで、実習を交えてお話ししていただきました。今後、聞くだけに止まらず、現場で生かしていけるよう、患者さんの満足度や職場の環境の向上に努めます。



実習(正しいおじぎの仕方)を交えての研修

接遇研修は日々の自身を振り返る機会となり、身の引き締まる思いでした。病院一職員として、患者さんと共に病院を作り上げていけるよう、精進して参ります。



編集後記

長谷川 考子 (ソーシャルワーカー)